

ひょうご経済・雇用戦略（2023～2027）骨子案

R4.10.12 兵庫県 産業労働部

1	位置づけ等	3
2	基本戦略、戦略全体の基調及び3つの方向性	5
3	戦略の全体像	6
4	戦略全体の基調 ～ SDGsの推進	7
5	重点プロジェクト	8

1 位置づけ等

①戦略の位置づけ

【県政の羅針盤】

ひょうご
ビジョン
2050

2050年に、誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる「躍動する兵庫」となることを目指すもの

経済関係の実行プログラム
(計画期間:2023~2027年度)

【経済・雇用分野の取組方針】 ※本戦略

ひょうご経済・雇用戦略

【交流分野の取組方針】 ※別の委員会で策定

ひょうご新観光戦略

②戦略の推進体制

- 県民、企業・事業者、大学・研究機関、地域金融機関、産業雇用団体・支援機関、国・市町の各主体と認識を共有
- 有識者で構成する「ひょうご経済・雇用戦略推進会議」等の各種会議や意見交換などを通じて戦略を推進

③戦略の実行・評価・改善

- 戦略ごとに重要目標達成指標となるKGI、それを達成するための中間目標となるKPIを設定
- 当該指標をもとに、定期的なPDCAサイクルにより、戦略の実効性を高めていく

[基本戦略等の設定に向けた整理]

兵庫県の目指す姿 (ひょうごビジョン2050)

2050年の
兵庫の姿

誰もが希望を持って生きられる
一人ひとりの可能性が広がる
『躍動する兵庫』

包摂

×

挑戦

躍動

経済・雇用分野 での目指す姿

社会課題を見だし、
解決に取り組んでいく
新たな挑戦の創出

強みを活かし、持続可
能な未来を見据えた次
世代・成長産業の育成

持続可能性と収益性を
両立する自立した経済
を実現できる産業構造
の確立

多様性を受入れ、生き
生きと仕事ができる働
きたい兵庫の実現

5つのめざす社会

I 自分らしく生きられる社会

- ★ ① 自由になる働き方
- ② 居場所のある社会
- ★ ③ 世界へ広がる交流

II 新しいことに挑戦できる社会

- ④ みんなが学び続ける社会
- ◆ ⑤ わきあがる挑戦
- ⑥ わきたつ文化

III 誰も取り残されない社会

- ★ ⑦ みんなが生きやすい地域
- ⑧ 安心して子育てできる社会
- ⑨ 安心して長生きできる社会

IV 自立した経済が息づく社会

- ⑩ 循環する地域経済
- ⑪ 進化する御食国
- ⑫ 活動を支える確かな基盤

V 生命の持続を先導する社会

- ◆ ⑬ カーボンニュートラルな暮らし
- ★ ⑭ 分散して豊かに暮らす
- ◆ ⑮ 社会課題の解決に貢献する産業

2 基本戦略、戦略全体の基調及び3つの方向性

④基本戦略

【経済・雇用分野の目指す姿（『基本戦略』）】

持続可能な地域経済 の確立と雇用の安定

コロナ禍によって浮き彫りとなった社会課題に対応し、「超人口減少社会」においても豊かな生活を維持するため、自立した地域経済の仕組みづくりと雇用の安定に計画的に取り組んでいく

⑤戦略全体の基調・3つの方向性

【**戦略全体の基調**と基本戦略実現のための**3つの方向性**】

S
D
G
S
の
推
進



兵庫を牽引する新たな産業の創出

中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

地域経済を支える人材の確保・育成

- 社会課題を見だし、解決に取り組んでいく新たな挑戦の創出
- 兵庫県の強みを活かし、持続可能な未来を見据えた次世代・成長産業への支援
- 持続可能性と収益性を両立する自立した経済に向けた中小企業の経営基盤強化
- 多様性を受入れ、生き生きと仕事ができる働きたい兵庫を目指す取組推進

3 戦略の全体像

考慮すべき潮流変化

- SDGsを目指す世界的な取組の広がり
- 脱炭素社会等、世界的な環境課題への対応進展
- DXによるビジネス環境の変化
- 次世代モビリティ等、社会を変革する新技術の進展
- コロナ禍を経たテレワーク・ワーケーション等の新しい働き方の浸透
- ワークライフバランスを重視するZ世代の職業観
- 経済安全保障を踏まえた国際的なサプライチェーンの再構築
- ダイバーシティ&インクルージョンが企業経営の基本理念に

基本戦略、戦略全体の基調、3つの方向性及び9の重点プロジェクト

持続可能な地域経済の確立と雇用の安定

- ・環境や社会と調和しながら、循環し、自立する経済
- ・多様な人材の参加活躍、能力向上を促進する経済

SDGsの推進



兵庫を牽引する新たな産業の創出

社会課題の発見、解決に挑戦する企業の創出、先端の科学技術などが支える次世代・成長産業の育成

①成長産業の育成

②スタートアップエコシステムの形成

③科学技術基盤を活用した技術革新支援

中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

持続可能性と収益性を両立した循環経済を実現する中小企業の経営基盤強化

④DX等による生産性の向上

⑤経営の持続性向上

⑥地場産業の競争力強化

地域経済を支える人材の確保・育成

持続的成長の源泉となる人材への投資促進
多様な人材が働きやすい環境の整備

⑦人への投資の推進

⑧若者をはじめとする多様な人材の確保

⑨誰もが生き生きと働ける環境づくり

- SDGsに取り組む企業を増やし、**市場、サプライチェーン、人材確保**における兵庫企業の優位性を高める
- 企業のSDGsの取組促進は、「3つの方向性※1」それぞれの実現につながる

取組の方向性等

現状・課題

- ア SDGsへの取組による効果を実感した企業の割合は全国で6割以上※2
- イ 「企業イメージの向上」、「採用活動におけるプラス効果」など、SDGsへの取組が、企業価値の向上につながっている ※3
- ウ 本県の「SDGsに積極的な企業」の割合は36.6%で、全国35位※4
- エ 企業からは「具体的な取組目標が思いつかない」、「政府にもう少し強く先導してほしい」等の声が挙がっている※5

取組の方向性

- ①セミナーや専門家派遣等による知識の普及や先進事例の情報発信
- ②県内中小企業のSDGs取組の宣言登録や認証、HP等での公表
- ③金融機関、その他支援機関等との連携強化と、公民連携プラットフォームを活かした効果的な運営

※1 「兵庫を牽引する新たな産業の創出」、「中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展」、「地域経済を支える人材の確保・育成」

※2~5 「SDGsに関する企業の意識調査」(2021.8、2022.8 帝国データバンク社)による (※4のみ2021.8のデータ)

5 重点プロジェクト①

兵庫を牽引する新たな産業の創出

現状・課題

【環境・エネルギー産業】

ア 水素需要は2050年には160兆円規模に
イ 播磨臨海地域はエネルギー需要が非常に高く、水素基地立地の優位性がある



世界初の液化水素運搬船による日豪間の水素輸送に成功

【航空・次世代モビリティ産業】

ウ 航空機産業のクラスターが形成
エ ドローンや空飛ぶクルマは社会課題解決への活用が期待されている

【健康医療産業】

オ 神戸医療産業都市には多くの先端医療企業が集積



国産初の手術支援ロボ「hinotori」

重点プロジェクト



重点プロジェクト①

成長産業の育成

取組の方向性

- ①経済的インセンティブによる成長産業の重点支援
- ②産学官連携による、研究開発やプロジェクトの具体化を支援
- ③新製品の試作開発を支援
- ④ドローンの社会実装に向けた実証実験や、空飛ぶクルマの離着陸場を整備



ドローンを用いたスズメバチ駆除の実証実験



国際フロンティア産業メッセ2022で展示された空飛ぶクルマ

5 重点プロジェクト②③

兵庫を牽引する新たな産業の創出

現状・課題

- ア 都道府県別人口100人あたりの起業家数では、本県の全国順位は25位
- イ 国のスタートアップエコシステム拠点形成戦略において本県はグローバル拠点都市に選定
- ウ 県内企業の多くは新規事業展開が必要と考えているが、取組は停滞
- エ 生きがいごとサポートセンター等で蓄積された地域課題解決のノウハウ活用
- オ 若者の社会貢献意欲は高まっているが、心理的障壁から起業者は少ない

重点プロジェクト

重点プロジェクト② スタートアップエコシステムの形成



取組の方向性

- ① 起業プラザひょうごにスタートアップのグローバル拠点を構築
- ② スタートアップと既存企業によるオープンイノベーションを促進
- ③ 再チャレンジを目指す起業家に対する活動支援を展開
- ④ 地域課題を掘り起こし、課題解決を支援する拠点の整備
- ⑤ スタートアップアカデミー等により、若者の起業家精神を育成

- ア 本県基幹産業であるものづくり産業の更なる競争力強化
- イ シミュレーション技術の普及啓発や先端技術人材の確保

重点プロジェクト③ 科学技術基盤を活用した技術革新支援



- ① SPring-8、SACLA、「富岳」など県内科学技術基盤の産業利用を推進
- ② 関係機関と連携した学術的研究への助成や人材育成支援

5 重点プロジェクト④⑤⑥

中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

現状・課題

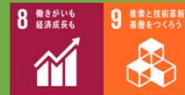
- ア 先進国の中でも、低水準な日本企業の労働生産性
※製造業は世界1位(1995)から18位(2020)に低下
- イ 欧米諸国と比べて低い水準の日本企業の人的資本投資

- ア 縮小する県全体の事業所数
※商店街・小売市場は2006～2018年で2割減
- イ 廃業理由の約3割は後継者不足
- ウ 事業承継に係る相談需要の増加
- エ サイバー攻撃やサプライチェーン分断等の新たな危機の高まり
- オ 海外展開推進に係る人材の不足
- カ コロナ禍の無利子無担保融資によって急増した企業の負債

- ア 主要地場産業の大半はピーク時と比較してその生産金額は半分以下に減少
- イ SDGs関連商品が選好されるなど、消費者の意識変化

重点プロジェクト

重点プロジェクト④ DX等による 生産性の向上



重点プロジェクト⑤ 経営の持続性向上



重点プロジェクト⑥ 地場産業 の競争力強化



取組の方向性

- ①DXの導入促進に係る県内企業の意識啓発、知識補完
- ②製造現場でのAI・IoT・ロボット普及支援
- ③中小企業のリスキングを支援

- ①事業承継に係る相談機能強化
- ②若手後継者の新事業展開支援
- ③魅力的な店舗の商店街への出店促進
- ④新たな危機に対応したBCP策定の支援
- ⑤高度外国人材の確保等の海外展開支援
- ⑥金融機関による経営改善の伴走型支援

- ①SDGsの視点から地場製品のブランド価値を向上する取組を支援
- ②地場製品の販路拡大、海外展開のための技術開発支援

5 重点プロジェクト⑦⑧⑨

地域経済を支える人材の確保・育成

現状・課題

- ア 大きく減少する生産年齢人口
※316万人(2020年)→210万人(2050年)
- イ 県内企業の労働生産性の向上が課題

- ア 若年層の転出超過が加速
※2016～2020年の5年間で超過数は1.5倍

- イ ものづくり産業では理工系人材が不足
- ウ 多様な人材を採用するダイバーシティ経営の広がり

- ア 外国人や女性、高齢者、障害者といった多様な人材が生き生きと働ける職場づくり

- イ 在留資格の緩和等で本県の在留外国人は大きく増加
※96,541人(2013年)→114,806人(2020年)

- ウ 多様で柔軟な働き方ができる魅力ある企業を県内に増やすことが重要

重点プロジェクト

重点プロジェクト⑦

人への投資の推進



重点プロジェクト⑧

若者をはじめとする多様な人材の確保



重点プロジェクト⑨

誰もが生き生きと働ける環境づくり



取組の方向性

- ①公共職業能力開発施設等による新たな地域ニーズにも対応した職業訓練実施
- ②DX人材育成をはじめとして、中小企業のリスキングを支援

- ①大学低学年からのインターンシップ等による県内企業の認知度の向上
- ②企業と理工系学部生とのマッチング支援
- ③留学生に対する県内企業のPR

- ①外国人労働者が適正に就労するための相談・啓発・マッチング支援
- ②女性が働きやすい職場づくりの普及啓発や研修実施
- ③シニア世代の多様な働き方を支援する相談窓口の設置
- ④ジョブコーチによる障害者と企業への伴走型支援
- ⑤テレワーク、ワーケーションなど、新しい働き方の導入支援